

「平成28年度 ナガエツルノゲイトウ駆除作業（第5回）」参加報告

平成28年10月25日に千葉用水総合管理所では、印旛沼に通じる新川に流れ込む八千代市内の桑納川（かんのうがわ）で第5回目のナガエツルノゲイトウ協働駆除作業に参加しました。



作業前の打ち合わせ

駆除作業の参加者

印旛沼流域水循環健全化会議の呼びかけにより、東邦大学、環境パートナーシップちば、千葉県、八千代市、印旛沼土地改良区、NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)など、総勢24名の参加となりました。千葉用水総合管理所からも9名の職員が参加しました。（機構からボート1艘を出しています）

今回の作業目的

- (1) 水域班：
 - ・ 河岸に再発芽したナガエツルノゲイトウ個体を除去
 - ・ 8月の台風等の降雨で流出した新川との合流点付近の群落の残個体の除去
- (2) 陸上班：
 - ・ 水域作業の補助と陸上に生育しているナガエツルノゲイトウ個体の除去



水域班の作業風景



陸上班の作業風景

作業は、A～Cの3チームと船舶での作業班に分かれ、チーム毎に指定された区域に生育しているナガエツルノゲイトウの駆除を行いました。除去したナガエツルノゲイトウは、土嚢袋に入れ左岸と右岸とに分けて集積し、その重さを集計した結果、左岸691kg、右岸125kg、合計816kgを記録しました。



水域班と船舶チームとの連携作業



水域班と船舶チームとの連携作業

今回の作業は、護岸に生育している個体の駆除と8月の台風等の降雨で流出した箇所が残個体の駆除作業で、特に残個体の駆除は、この秋一番の冷え込んだなかでIVUSAの方たちが主に川に入り、水の冷たさを感じながら作業をしていました。水域班と船舶チームと連携し、駆除したナガエツルノゲイトウの運搬を行いました。

作業終了後には、反省会を行い今後の作業の予定や駆除方針等について話し合いを行いました。



作業終了後、参加者全員で